様式３(2020.06改)

作成日　令和3年10月25日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375601016
事業所名	グループホームあま恵寿荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	コロナ禍で、地域交流が難しい状況が続いてきたが、緊急事態宣言明けからは、積極的に外に出るように心掛けている。以前の交流が途絶えた状況であるため、まずは利用者の元気な姿を見せようと、公園でグランドゴルフの見学をして声掛けのチャンスを待ったりなど、関係作りの再構築に取り組み出している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	この1年は、対面での会議開催を避け、書面開催としてきた。事前にアンケートを配布し、意見や提案、質問等を募り、ホーム側の回答と共に議事録に掲載している。運営報告、活動報告を基に作成した議事録は、行政はじめメンバーに配布している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	コロナ禍で、直接の連携の機会は少なくなっているが、運営に関する相談・報告を通じて、適切に連携を図っている。今年度改正の、運営推進会議の開催方法についても、市に相談して方針を固めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	新型コロナウイルス感染症の拡大予防について、法人施設側からの方針があり、その都度家族に通達し、理解を深めてきた。法人の方針に対し、家族からの意見や提案、要望が数多く寄せられ、面会制限の中、少しでも家族の安心になるように、お便りの回数を増やし、写真を増やし、と、ホーム側の誠意の表出に努めてきた。運営推進会議の事前アンケートが、家族とのコミュニケーションのツールになり、忌憚のない意見聴取につなげることができた。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	－
総合評価		○

【備考欄】

新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点で、対面の会議を避け、書面開催としている

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									